

笑顔 ~Smile~

令和4年11月14日
草津町立草津中学校 保健室



再流行の兆し、引き続き体調管理を！

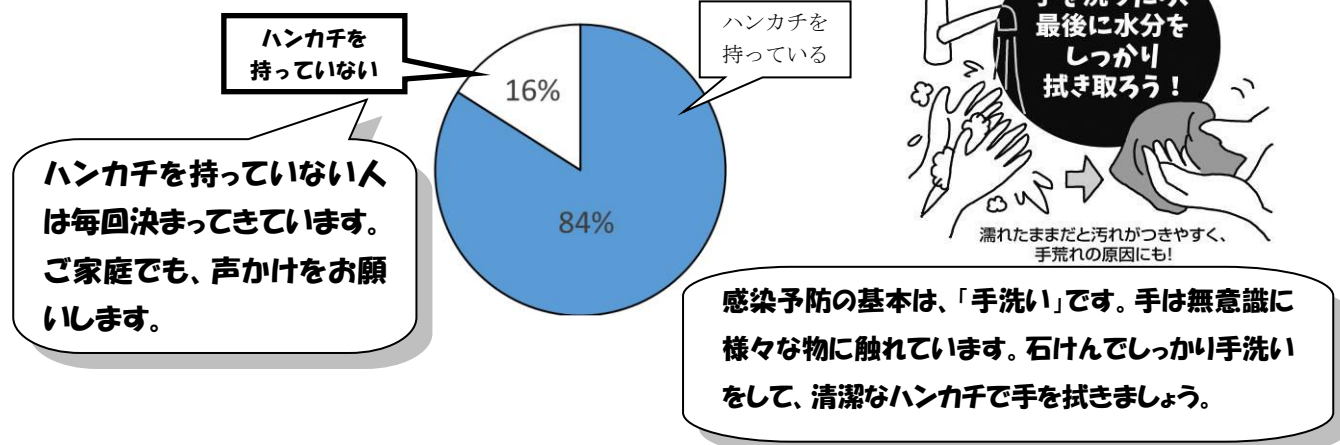
新型コロナウイルス感染症については、流行が再拡大し、第8波に入っているとも言われます。群馬県では、12日から警戒度がレベル1からレベル2に上がりました。それに伴って、学校では、登校時の健康観察を徹底し、本人及びご家族の健康状態の確認をしてから教室に入ってもらっています。

感染拡大防止のため、本人はもちろん、ご家族で体調が悪い人がいる場合もお休みするようにお願いします。

これからも、気をゆるめることなく、日々の健康観察をはじめ、手洗いやうがい、衣服の調節、十分な睡眠、バランスのよい食事、運動等、体調管理に努めて元気に過ごしましょう。

衛生検査について ~ハンカチの確認をご家庭でもお願いします！~

毎週木曜日の朝、保健委員が中心になり、衛生検査を行っています。衛生検査では、ハンカチを持っているか、爪は短く切っているか、歯ブラシの毛先が開いていないかをチェックします。以下のグラフは、前回（11月10日）のハンカチの検査結果です。



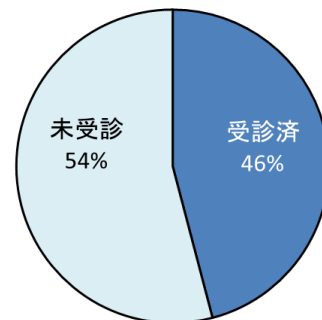
歯科受診をお願いします

現在、歯科受診が終わっている生徒が全校で46%です。むし歯・歯肉炎・歯並び・要注意乳歯等で「受診のすすめ」をもらった人で、まだ歯医者にっていない人は早めに受診をしてください。

特に、むし歯がある生徒へは、再度「受診のすすめ」をお渡しします。



歯科受診状況（11月11日現在）



「がん教育」

11月10日に2年生を対象に「がん教育」が行われました。現在、日本人の死因の第1位は「がん」で、2人に1人は一生のうちで何かしらの「がん」にかかるといわれる、とても身近な病気です。しかし、「がん」と聞くと、怖い・治らない病気など、不安や恐怖心をもつ人も多いのではないのでしょうか。そこで、学校でも「がん」について正しく知り、生涯にわたって予防・対処できるよう指導をすすめています。



今回は、乳がん認定看護師の「柳澤ちぐさ」様を講師に、がんとはどんな病気か、どのくらいの人がかかっているか、原因や予防方法、治療方法、そしてがんになった人や家族の気持ちなどについて、お話を聞きました。



生徒の感想より・・・

がんは怖い病気だと思っていたけど治るようになっていくことがわかって少し考え方が変わりました。それから、予防方法などもわかったのでしていきたいです。家族にも今日習ったことを話したいと思いました。

生活習慣と発がんの関係の表を見たときに、タバコを吸ったりしていると、いろんな癌になりやすくなるとわかった。そして、癌にもちゃんと予防ができるんだとわかった。そして、将来はタバコを吸わないで、お酒もあまり飲まないように生活をしたいと思いました。

がんは今まで怖いイメージがあったけど95%の人が治る可能性があることを知れて、あまり怖いイメージはなくなった。今日知れたことを親にも話そうと思った。

がんはあまり治らないと思っていたので治る確率が高くて驚きました。がんは生活習慣をよくし、予防できることも知れたので、がんにならないようにしたいです。

がんは予防できるが、かかる可能性があることを知った。でも、できることはたくさんあるので生活習慣などを見直したい。

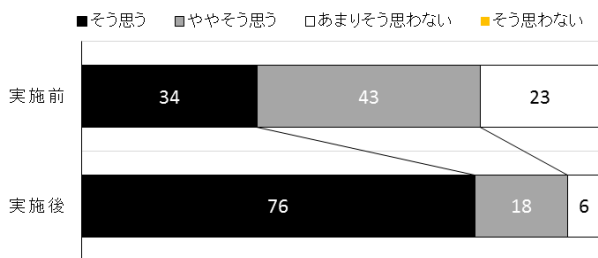
家族ががんになったことがあって少し話を聞くのが怖かったけど、今は聞いてよかったなと思っています。これを機会に、これからの生活にも気をつけていきたいと思いました。

初めて知ることがたくさんあって、がんを予防するために運動や睡眠をしっかりしていこうと思った。検診なども大人になったらしっかりしようと思った。

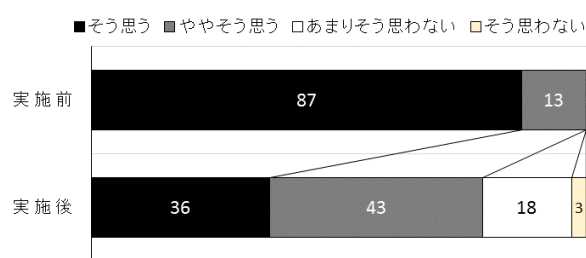
自分のがんにはかからないだろうと思っていたけど、誰でもかかりうるということがわかりました。



がんは身近な病気だと思う



がんは怖い病気だと思う



授業の前は、がんは自分とは関係のない病気・怖い病気と思っていた生徒が多かったのですが、授業後は、がんを身近な病気と感ずることができました。さらに、正しい知識をもつことで、不安や恐怖心が減少し、予防を心がけたり、検診の大切さを感じたりした生徒が増えました。